

播磨町教育委員会

新世紀を担う心豊かな人づくり

播磨町では、播磨町に最適な教育を進めるため、様々な委員会を立ち上げ、課題を検討し、実践を行っています。

教育委員会

5人の教育委員で組織され、学校教育及び社会教育に関する教育予算、教育施策、調査統計などについて審議します。定例会は月1回、原則毎月第2水曜日に開かれています。今年度は中学校給食が大きな課題になっています。

社会教育委員

8人の委員を委嘱している教育委員会の社会教育に関する諮問機関です。社会教育に関する諸計画を立案し、また必要な研究調査を行います。今年度は放課後子どもプランについて話し合います。

人権啓発推進委員会

人権教育基本方針に沿って、学校、地域社会、家庭、企業などあらゆる場で人権教育や人権啓発について検討し、推進しています。今年度は主に「いきいきフォーラム」について推進します。

家庭教育推進委員会

幼稚園・保育園や学校、行政機関が一体となり、家庭教育や幼小連携教育について検討し、啓発活動を行います。



青少年育成推進委員会
中学校区ごとに設置され、少年補導委員会など各種委員会の代表が出席し、警察とも連携し、青少年の健全育成や防犯について情報交換や施策を検討しています。

蓮池小学校

主体的、創造的に生きる「人間力」豊かな児童の育成

— かかわり、つながり、よろこびをつくる —

本年度、本校では、800人の大切な子どもたちを預かり、多くの出会いと共に新たなスタートをいたしました。常に、子どもたちの幸せと心豊かな成長を願いながら、子どもたちが夢と希望を持って未来を主体的かつ創造的に生きていく「人間力」を育んでいきたいと考えています。豊かな人間性をはじめ知・徳・体における確かな力の育成を目指して、職員一同、心を一つに、尽力してまいります。

校訓 豊かな心 健やかな体

教育目標

未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成

目指す児童像

- ・自ら考え表現する子
- ・心豊かな子
- ・たくましく子

努力目標

- ①基礎・基本の確実な定着と個性や創造性を伸ばす教育の充実
- ②児童理解に努め、豊かな心を育む教育の充実
- ③生涯を支える健康・安全教育の充実
- ④地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりの推進

本校は、「灯籠の会」や「なでこの会」をはじめ保護者の皆さま、地域の皆さまから温かいご支援をいただいております。本年度も更に本校教育への深いご理解と温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

http://www.hasuke.harimakyoiku.jp/



藤原暁美 校長

播磨西幼稚園

育てよう 豊かな心と健やかな体

— 基本的な生活習慣や態度の確立を目指して —

—

幼児が家庭で習得した生活習慣は様々で、なかでも食事・睡眠・排泄など健康な生活に必要な行動ができるようにし、心地よさや満足感などが味わえるようにしていくことが大切であると考えます。形成された習慣や態度は、健康な体を育てるうえで重要であるばかりでなく、自信や意欲につながり人格形成にも大きく影響します。本園では幼児の発達段階の時期にふさわしい生活習慣や態度を明確にし、家庭と連携をとりながら『育てよう！豊かな心と健やかな体』を研究テーマに取り組んでいきたいと思えます。

教育目標

生き生きと輝いている子ども

目指す幼児像

○自分の思いや考えを心豊かに表現する子ども

○健やかで、たくましく、けじめのある子ども

本年度の努力目標

①活気にあふれ魅力ある園づくりに努める

②豊かな心を育む教育の充実を図る

③発達に即した豊かな人権感覚を育てる

④基本的な生活習慣の確立と健康教育の充実を図る

⑤幼稚園・家庭・地域との連携を密にし、開かれた園づくりに努める

⑥豊かな人間性あふれる魅力ある教師を目指す

⑦幼稚園教育から小学校教育への円滑な移行に向けた幼小連携を進める

本年度も、地域の皆さまと共に、生き生きと輝いている子どもの育成に努めてまいります。

http://www.town.harima.gijp



小西真由美 園長

播磨中学校

学ぶ意欲を育てる根幹づくり

重点課題

○学習指導

・指導と評価の一体化

・個に応じた進路指導

・評価方法の工夫

・説明責任を果たす

○道徳・学活

・生き方、社会性、道徳実践力の育成

・学級会、委員会、生徒会の充実と活性化を図る

○不登校対策

・支援活動強化

・家庭・S・Cとの連携

・不適応生徒への支援

○学校教育啓発

・通信たよりの発行

・学校開放の充実と地域との連携

・PTA会員相互の研修と交流会の実施

特別支援教育の充実

・生徒理解と学習指導の工夫・個の能力に応じた指導

・コーディネーターとの連携とその推進

ふれあう生徒指導

・生徒理解、全教職員の共通理解

・家庭、地域、関係機関との連携強化

・5月3年生全員、校長との個別面談

安全安心の学校づくり

・防犯・防災教育の充実。不審者対応

・心肺蘇生やAED研修

http://www.harimaj.ed.jp/



福壽実 校長



播磨西小学校

心豊かな西っ子の育成 — 豊かな表現力を培う学習活動の創造 —

—

本校では、創立当初からの教育理念「弗為胡成」の校訓が三十数年の歩みの中で受け継がれています。数々の体験活動を通して、人として生きていく上での基礎・基本を身につけていくことを意味します。そのような不易の部分を土台として「よく遊び、よく学ぶ」をモットーに「播磨西小学校に来てよかった」「西小学校で学べてよかった」と教職員も含め、全ての児童が感じることができるよう、そんな学校づくりに取り組んでいきます。

目指す児童像

○よく考える子 「知」

○思いやりのある子 「徳」

○明るく健やかな子 「体」

本年度の努力目標

①個に応じた教育の充実と確かな学力の向上

②基本的な生活習慣の確立と体験活動の充実

③命や人権を大切に、共に生きる豊かな心の育成と人権尊重の学校文化の構築

④人間的なふれあいに基づく生徒指導の充実

⑤家庭や地域の連携を強化し、地域から信頼される学校づくりの推進

本年度も、地域・家庭のご理解・ご支援をいただきながら、毎日の学校教育活動を推進し、子どもたち一人ひとりが、自分の考えや課題解決に向けた取り組みを深めながら、お互いが認め合い・伝え合う信頼関係づくりに努めていきたいと考えています。

http://www.harinishi.harimakyoiku.jp/



原堅 校長

播磨南中学校

明るく 正しく たくましく

教育指針

知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

教育目標 未来に向かって主体的に生きていくことができる力の育成

目指す生徒像

聡い生徒、心豊かな生徒、たくましく健やかな生徒

重点課題と実践項目

①魅力的で地域に信頼される学校づくりの推進

・人的・物的環境の整備

・活力と魅力に満ちた学校の創造

②基礎・基本の定着と個性や創造性の育成

・基礎的な学習の定着と生活習慣の確立

・自ら学ぶ力の育成と個に応じた教育の充実

③生徒一人ひとりの理解と豊かな心を育む教育の充実

・道徳教育の充実と道徳的な実践力の育成

・望ましい集団活動を通じた特別活動の充実

④自己実現と共生を目指す人権教育の推進

・夢を育み、自己実現を図る教育の推進

・人間的なふれあいに基づく指導体制の充実

⑤生涯を支える健康・安全教育の充実

・障害の健康を支える保健教育の充実

・個に応じた体力や運動能力の向上

⑥教職員の資質向上

・豊かな心と人間性の涵養

・校内研修体制の確立と主体的な研修の推進

本年度も、目標達成のため、さらに充実した教育活動を展開してまいります。

http://www.harinan.ed.jp/



田中博昭 校長



▲生徒会スローガン「しょう！創ろう！広げよう」

播磨中学校編

成定 真太郎、瀧本 百花、
松田 望、田中 優美、橋本 紗希、野村 佳代



▲まちの将来について町長と懇談しました

美しく、笑顔あふれる播磨町

これからの播磨町をもっと素敵に
するために、トライやるウィークの活動
をした播磨中学校の生徒6人で話し合っ
てみました。

自慢できるところは、歴史があり、田舎
でも都会でもないちょうどいいまちだとい
うところです。気候がよくて買い物をする
店も近くにあり、子育てがしやすい住み
やすいまちです。そのことを、もっと町の
人にも知ってもらえるように、広報やポ
スターでPRしていければいいと思います。
また、大中遺跡の看板を幹線道路に立
たりして、よい町であることをPRすべ
いと思っています。

良くないなあと思うことは、犬のフンや
ゴミをポイ捨てる人がいることです。ゴ

ミを拾う清掃活動をいろんな人がやって
います。でも捨てる人がなくなると、ま
ちは美しくなりません。罰金制度を作っ
たとしても、見張る人や監視カメラの設置は
難しいと思います。だから、看板や広報で
呼び掛け、私たちみんなでゴミを捨てる人
や、犬のフンをそのままにする人を目で追
って、マナー違反をしにくい雰囲気の中
に作ることで、美しいまちになればいい
と思います。

他にも信号無視やスピード違反、騒音を
立てて走るバイクなど交通違反については、
警察の取り締まりやパトロールを増やして
欲しいと思います。

困ったなあと思うところは、子どもを狙
った不審者がいることです。播磨町は大き
な事件や事故、災害のない平和なまちだ
と思います。でも、不審者は油断できない状
況で、いつ事件へとつながるかわからない
ので、私たちは安心してできません。だから、
まちの人みんなの目で、不審者を見逃さな
いようにしていきたいです。

他にも、ゴミの分別を徹底して地球温暖
化を防ぐ努力をまちの人みんなで行って
いることが大事だと思います。

私たちは将来、播磨町に住みよいく
まちとして、発展して欲しいと思っています。



▲仲良く話す高齢者と播磨中学校の生徒

トライやるウィーク in 病院

5月28日(月)～6月1日(金)の5日間、ト
ライやるウィークが行われました。役場での
トライやる活動は、広報はりまの記事とし
て、トライやるウィークの様子を取材する
ことでした。

取材の為、明石同仁病院に行き、そこで
活動する播磨中学校の生徒に取材をし
ました。

この病院では、階ごとに分かれて活動し
ていて、老人の介護を主としてさまざまな
活動をしていました。

その中の一人になぜこの仕事を選んだの
かを聞くと、「将来福祉の仕事がしたいか
ら」と話してくれました。この生徒は、高
齢者に昼食を食べさせたりしているそう
です。この仕事を体験してみようですかと
聞くと、「最初は何か何だか分からず、こ
こに来たことを後悔した時もあった。けれ
ど、少しずつ分かってきて楽しくなってい
た」と話してくれました。

皆真剣に考え、仕事をこなしていました。

トライやるウィーク企画

播磨南中学校編

高嶋 彩、足立 梨帆子、福西 美由紀

明るく、元気で仲よし播磨町

播磨町って、どんなまちだろう。毎日、
何気なく暮らしている播磨町。トライやる
ウィークの活動で、役場に来て改めてこの
まちがどんなまちなのかを考えてみました。

播磨町は、住んでいる人が明るくて元
気が多いと感じます。この元気で明るさ
が長続きするためには、みんなが協力をし
てマナーを守って、いいまちのパワーと笑
顔を増やしていくことが大切だと思います。
たとえば、私たちの住む地域では廃品回収
を頑張っています。協力する地域の人同士
が、仲がよいことも、まちのパワーにつな
がっていると思います。播磨町にはたく
さんの催しがありますが、特に町民運動会な
どで「こんな人が近くに住んでいたらな
い」と思っている人もいます。だから、町民
運動会などでは地区別にチームを作って競
う競技などがあれば、もっとふれあいのチ
ャンスになるのではないかなあと思
います。そして、私たちもどんどん参加
していきたいです。

町全体のいいなあと思うことは、喜瀬川
のような自然があることです。でも、残念
なことには「ゴミがよく捨てられています。川
にはいろんな生き物がいて、普通ならも
っときれいな川であるはずなのにペットボ
トルや、生活から出るゴミが捨てられてい
ます。捨てる人は川をゴミ箱とも思っ
ているのでしょうか? 新幹線の高架下にも
ゴミを見かけます。粗大ゴミを捨てる人が

のです。どちらも住んでいる人はばかりが
捨てているわけではなく、ほかのまちから
来て播磨町でゴミを捨てている人もそう
です。分別ゴミの収集場所でもルールを守
らない人がいて困っていると、町長とお話
しているときに聞きました。だから、川な
どの清掃日を決めて、みんなでゴミを拾
うことをしたいと思っています。個人で参加
する人が参加しやすいように、ポスターを
貼って呼びかけたりその日には川の回りに
旗を立てたりして参加しやすいようにし
て、清掃活動などをしてみたいと思
います。あとで、自治会などで清掃する日
があると知りました。私たちも、参加して
自分の住むまちをきれいにしていきたい
と思います。

他にも、自転車を点検プロックの上に止
めたりしないとか、学生はだらしない服装
などをしないということも含めて、地域の
人みんなが仲良くなって、マナーを守っ
ていくことが、笑顔が
いっぱいあふれる播磨町に
なるために大切な
ことだと思います。

私たちは、播磨町
が明るくて元気で、
住んでいる人たちが
みんな仲良しのまち
になってほしいな
と思っています。



笑顔で「いらっしゃいませ!!!」

私たちはトライやるウィークの取材で「こ
ちそう村」へ行ってきました。「ここには、
6人の生徒が来ていました。まず、厨房に
行かせてもらいました。すごく忙しそう
でした。塚崎君はお客さんに料理を運んで
いて、澤田さんと岸本さんはお皿洗いをし
ていました。私たちはその間に写真を撮ら
せてもらい、インタビューをさせてもら
いました。

まずは指導をしている方に質問しました。
トライやるウィークで活動している生徒は
頑張っていると言われたことをちゃんと守
って、私語が少なく苦労はないと言っ
てくれました。

次に生徒にインタビューをしました。な
ぜこの仕事を選んだか?と聞くと「しん
どそうやけど、楽しそうだったから」と。
第二の質問でその仕事の中で大変な事は?
と聞くと青木君が「暇なとき」塚崎君が「接
客(お客さんが多いから)」と答えてくれ
ました。最後に楽しいことはどんなこと
か?「お客さんとのふれあいやお客さんの
笑顔を見ているとき」と4人で答えてくれ
ました。皆、笑顔で頑張っていました。



▲ようこそ、ごちそう村へ

初夏、それぞれの過ごし方

播磨南中学校

1学期も3カ月が過ぎ、生徒たちは日々の授業を軸として行事などを経験していく中で、新しい学級の生活に慣れていく様子が手に取るように伝わってきます。

1年生は、初めての学年行事として、5月18日(金)に集団行動コンクールと綱引き大会を行いました。学年初めての行事で、一人ひとりが力を出し合って、各クラスが一つにまとまろうと一生懸命に頑張りました。2年生は、6月4日(月)から8日(金)までの5日間、トライやる・ウィークで地域の企業・商店・飲食店・公共施設などで実施しました。関係の皆さんに大変お世話になり、貴重な一週間を過ごすことができました。ありがとうございました。

3年生は、6月5日(火)から7日(木)までの3日間東京方面への修学旅行を実施しました。楽しい思い出がいっぱいできました。



←オーエス! オーエス!!



学校の周りを探検! 生活科校外学習

播磨西小学校

5月16日(水)に、1年生全員で学校の周りを散歩しました。普段、何気なく見ている、踏切や、「止まれ」の標識、カーブミラー、横断歩道、信号機、点字ブロックなどの標識や設備について、その役割を改めて認識。最近、踏切事故や歩道での交通事故など、子どもたちが犠牲になることが多いので、安全に暮らすための工夫をしっかり覚えてほしいな、と思います。



▲3人一緒にスイ〜と



ちよく遊べるよう、施設を大切に使うことを学んだ後は、お楽しみのエンジンョイタイム!! 思いつきり体を動かして友達と汗をかいた1時間でした。



踏み切りは、気をつけて渡ろう!

春の遠足は明石へ

播磨南小学校

とても良い天気恵まれた5月2日(水)は、みんなが楽しみにしていた春の遠足の日。3年生は、明石の「魚の棚商店街」と「明石公園」へ出かけました。

まずは、タイとタコの看板のあ



▲これが有名な明石のタコ

るアーケードをくぐって魚の棚商店街へ。捕れたてのタイやアナゴ、干しダコなど、明石の名産品が並ぶ商店街は、普段スーパーで買っている子どもたちにとって珍しい風景です。威勢のいい店員さんの声に誘わ

れて、あちこちをきよろきよろ見回しながら楽しく見学しました。

魚の棚商店街から10分ほど歩いて明石公園に到着。この日は連休前とあって、他の小学校からもたくさんの子どもたちが遠足にやってきました。公園で思いっきり遊んだ後はお待ちかねのお弁当タイム。青空の下で友達とわいわい言いながら食べるお弁当はやっぱりおいしいですね。みんな楽しんで一日を過ごしました。



▶青空の下でお弁当タイム

畑の名人、今年もありがとうございませ

播磨西幼稚園

「お芋植えに行くよ!!」

年長児が年中児を元気に誘いに来てくれました。今年も地域の方の畑を貸していただき、こ



▲あちらこちらから声がかかります

とになり、さあ出発です。畑に着くと古田西の老人クラブの方々が「おはよう!!」と優しく出迎え、一人ひとりに芋苗を手渡してくださいまし



これでいい?

◀おじいちゃん、おばあちゃん今年もよろしくお願いします

た。「おじいちゃん、来て!これどっち向き?」「どれどれ」と畑の名人のおじいちゃんや丁寧な声で教えてくださり、無事150本余りの芋苗は畑に落ち着きました。「名人ありがとう」帰る時にはお礼の握手をして別れました。秋にはきつと大きな大きなお芋が出来ることでしょう。楽しみです。



なかよし家族で大中遺跡に遠足!! 楽しかったよ!!

播磨幼稚園

播磨幼稚園では3歳児、4歳児、5歳児で「なかよし家族」をつくっています。5歳児は、お兄さん、お姉さんらしく世話をしようとして張り切っている様子が見られるようになり、5月22日(火)には、快晴の中、みんなで大中遺跡に遠足に行きました。行きは4歳児と5歳児が手をつないで出発!!「こっちは車の通る方だな。危ないから大きい組がかなあかんわ」「道を渡るときは止まって右左見るねんで」などと話しながらしつかり歩いて

いる5歳児です。
大中遺跡では、お家の人に送ってもらった3歳児が待っていました。大きな組さんに一緒に遊ぶ!!



▲仲良く手をつないで行きました!



▲なかよし家族でお弁当☆

交通ルール覚えたよ!

キューピット保育園

風のささやきや小鳥のさえずりが心地良く聞こえてくる5月半ば、キューピット保育園の子どもたちは交通安全教室に参加しました。

加古川警察署、交通安全協会の方や役場の方に来て頂き、交通ルールについてのお話を聞きました。



マにも教えてあげる!」と得意げな子どもたちはとてもリリしく、すてきな笑顔でした。

「横断歩道は信号をよく見て渡ること! 道路には飛び出さないこと!」などを約束して、横断歩道を渡る子どもたちの顔は真剣そのものでした。何回も練習するうちに、「右見て左見て、もう一度右見て、はいOK!」とそれぞれが自分でしっかりと手を上げて渡ることが出来ました。

交通安全のマナーを覚え、「マ



▲自分たちで横断歩道も渡れるよ!

きゃんぱすだより

あなたに

ヒットタッチ!

リレーエッセー⑩



森 真由美さん (大中)

趣味 パン作り

我が家の玄米生活

「玄米ってなんだろう?」
「玄米っておいしいの?」
「玄米ってどうやって食べるの?」
「玄米って?」

我が家で玄米を食べ始めたのは、私の怠慢がきっかけです。夫の実家でお米を生産しているので、少しでも味が落ちないように玄米のまま持って帰り、そのついで、精米します。しかし子育てに追われている日々、30分程度の米袋を担いでいちいち精米をしに行くのが面倒臭くなり、以前何かの本で読んだ玄米のことを思い出して、圧力鍋で炊いてみることにしました。それはそれは、ふっくらもちもち炊きたてのおいしさに、まず私たちは

驚きました。かめばかむほど甘みが出てくる味や、ちょっと香ばしいような香り。おいしいから毎日食べたくなって、知らず知らずのうちに体調が良くなっていることに気が付きました。
「ご飯自体に風味があるので、おかすは自然に油っこいものや味の濃いものが減って、野菜を中心に海藻、きのこ、こんにゃくなどあっさりした食物繊維たっぷりのものを好むようになりました。」

パンの講師をしている私にとっても職業柄バターや生クリーム、チーズといった油脂や高脂肪質なものを摂取せざるを得ないのですが、玄米生活は私にぴったりの日常食となりました。

そして、夫の両親が大切に作ってくれたお米の、一番栄養のあるところを食べないなんてもったいない! 子どもたちも一粒たりとも残さず、大事に食べてくれます。お互いの体と相談しながら毎日を過ごす食卓。我が家の玄米生活は幸せのバロメーターです。

玄米(こはん) (圧力鍋)

玄米………3合

水………カップ3

塩………ひとつまみ

洗った玄米に水と塩を加え、強火で火にかけ、圧力が上がったから、弱火で20分。火を止め、20分蒸らしてできあがり!

子どもたちが好きな「玄米ごはんのチキンライス」は玄米とケチャップの相性がぴったりです。



播磨町教育委員会

「なぜ、犬の散歩を忘れたの!」と、叱る前に

特別支援教育が始まりました

「新聞を取ってきてから、犬を散歩に連れて行ってね。」と頼んだのに、犬の散歩を忘れて自分で遊んでいます。「なぜ、犬を散歩に連れて行かないの!」と、叱る前に、どうして犬の散歩を忘れてしまったのかを考えてください。聞いているようなふりをしていても、目を見て話してあげないと、自分のことと思っていないのかも知れません。また、2つ以上のことを一度に言われると忘れてしまうのかも知れません。一つずつ指示を出すとか、メモを貼るとか、そ

の子に必要な支援とは何かを考えて、子どもに接していくと、子どもは安心します。
幼稚園や保育園、学校には様々な子どもたちが通ってきています。運動の得意な子、速く計算ができる子、本が大好きな子、音楽が好きな子、友だちと話すことが大好きな子……。でも、なかには集団生活を送るうえで、このようなことが苦手な子もいます。
特別支援教育とは、自分で解決できないことや手助けを必要としていることを見極め、適切に自立できる方向へと支援していくことです。

支援の仕方は、子どもたちそれぞれの個性に合わせたものでなければなりません。そこで今、学校の教職員は、目の前の子どもたちにどのような支援をすべきか、専門の講師を招いて研修を深めているところです。

また、特別支援教育は学校園だけではなく、家庭の協力や理解がなければ成り立たないものです。何かあれば、担任の先生に相談してください。学校教育グループに相談していただいても結構です。

学校教育グループ(担当 藤原) ☎079(435)0545